



端末設定とセッションの設定

-
- [端末設定とセッションの概要, on page 1](#)
- [コンソールポートの設定, on page 1](#)
- [仮想端末の設定, on page 3](#)
- [モデム接続の設定 \(3 ページ\)](#)
- [ターミナルセッションのクリア, on page 3](#)
- [端末およびセッション情報の表示 \(4 ページ\)](#)
- [ファイルシステムパラメータのデフォルト設定, on page 4](#)
- [端末設定とセッションに関する追加情報, on page 5](#)

端末設定とセッションの概要

ここでは、端末設定とセッションの概要について説明します。

コンソールポートの設定

コンソールポートに対して次の特性を設定できます。

- データビット
- 非アクティブセッションのタイムアウト
- パリティ
- スピード
- ストップビット

Before you begin

コンソールポートにログインします。

SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line console**
3. **databits *bits***
4. **exec-timeout *minutes***
5. **parity {*even* | *none* | *odd*}**
6. **speed {*300* | *1200* | *2400* | *4800* | *9600* | *38400* | *57600* | *115200*}**
7. **stopbits {*1* | *2*}**
8. **exit**
9. (Optional) **show line console**
10. (Optional) **copy running-config startup-config**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure terminal Example: switch# configure terminal switch(config)#	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	line console Example: switch# line console switch(config-console)#	コンソール コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	databits <i>bits</i> Example: switch(config-console)# databits 7	1バイトあたりのデータビット数を設定します。指定できる範囲は5～8です。デフォルトは8です。
ステップ 4	exec-timeout <i>minutes</i> Example: switch(config-console)# exec-timeout 30	非アクティブセッションのタイムアウトを設定します。有効値は0～525600分（8760時間）です。0分の値を設定すると、セッションタイムアウトはディセーブルになります。デフォルトは30分です。
ステップ 5	parity {<i>even</i> <i>none</i> <i>odd</i>} Example: switch(config-console)# parity even	パリティを設定します。デフォルトは none です。
ステップ 6	speed {<i>300</i> <i>1200</i> <i>2400</i> <i>4800</i> <i>9600</i> <i>38400</i> <i>57600</i> <i>115200</i>} Example: switch(config-console)# speed 115200	送信および受信速度を設定します。デフォルトは 115200 です。

	Command or Action	Purpose
ステップ 7	stopbits {1 2} Example: switch(config-console)# stopbits 2	ストップ ビットを設定します。デフォルトは 1 です。
ステップ 8	exit Example: switch(config-console)# exit switch(config)#	コンソール コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 9	(Optional) show line console Example: switch(config)# show line console	コンソールの設定値を表示します。
ステップ 10	(Optional) copy running-config startup-config Example: switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

仮想端末の設定

ここでは、Cisco NX-OS デバイスで仮想端末を設定する方法について説明します。

モデム接続の設定

ユーザーはモデムをコンソール ポートに接続できます。

ターミナル セッションのクリア

Cisco NX-OS デバイスのターミナルセッションをクリアできます。

SUMMARY STEPS

1. (Optional) **show users**
2. **clear line name**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) show users Example: switch# show users	デバイスのユーザセッションを表示します。
ステップ 2	clear line name Example: switch# clear line pts/0	特定の回線のターミナルセッションをクリアします。回線名では大文字と小文字が区別されます。

端末およびセッション情報の表示

端末およびセッション情報を表示するには、次のいずれかの作業を行います。

コマンド	目的
show terminal	端末設定を表示します。
show line	コンソール ポートの設定を表示します。
show users	仮想ターミナルセッションを表示します。
show running-config [all]	実行コンフィギュレーションのユーザアカウント設定を表示します。 all キーワードを指定すると、ユーザアカウントのデフォルト値が表示されます。

これらのコマンドの出力フィールドの詳細については、ご使用のデバイスの Cisco Nexus コマンドリファレンスガイドを参照してください。

ファイル システム パラメータのデフォルト設定

次の表に、ファイル システム パラメータのデフォルト設定を示します。

Table 1: デフォルトのファイル システム設定

パラメータ	デフォルト
デフォルトファイルシステム	bootflash:

端末設定とセッションに関する追加情報

ここでは、NX-OS デバイスの端末設定とセッションに関する追加情報について説明します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。